京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●大坂通信　エス生

▲大火后の大阪は久しく燒跡善後策に關する諸問題の爲め、當路者及び有志間に議論喧囂たる有樣なりしも北の新地問題、市區改正問題、家屋建築條例、蜆川埋立等の議は既に決定せられ、殘るは唯市信、電話、電燈の架空線を地下線と爲すや否の一問題に有り、勿論架空線を變じて地下線とすることは市民一般の希望にして又早晩は斯く爲さゞるべからざることは判り切つた話なれども、さて其れを實行するに伴ふ經費の一段より觀察して、遺憾ながら小生は遂に其實現を悲觀せるを得ず候

▲今回の大火に就き罹災者以外辛き目に逢ひたるは材木商に候、彼れ等は大火後の需要を思惑して各地方の荷物を呼び、大和、紀州の近縣は勿論、遠く秋田、北海道より急遽蒐集したる巨多の材木は、豫想ガラリと外れて需要皆無の姿、唯纔かに板圍用の板類や假家建に使用する少許の小材木のみに止り、荷動毫も平日に異ることなく、自任令紀文先生方呆然自失の態、可笑しくも又氣の毒の至に候

▲斯く燒跡に建築事業の起らざるは、無論其原因たる財界の萎縮に有るは申迄もなきことならんも又一には都市進步の社會狀態は、中流の資産家をして高價なる地上へ罹災し易き舊式の家屋（縱令新發布の家屋建築條例に據るも）を建築する利害の打算に考慮を費す如き、又確に大なる原因かと存せられ候、這は確に都市に於ける生活狀態の一變遷と見做すべき現象なるべし

▲と書き終る時來客あり、曰く、岩下清周氏等發起となりて一大會社を設立し燒跡全部を買收して之に借家を建設するの計畫ありと、此話しが果して眞面目に提議されたるや否は小生の知らざる所にして又眞面目の提議とするも果して實行し得るや否も斷言し能はざる所なるも、而かも多少の痕跡ある以上事實に候、遮莫、今日以後に於ける我社會は孤立の中產者は到底其存在を保ち得ざるべく、資本萬能の世界風は、用捨なく我邦へも吹き來り申候

▲貴地の虎疫流行は痛心に堪へず、貴社諸兄並に讀者諸君及在韓同胞の健全を祈り候

●南浦築港祝賀會

▲工事部長の祝辭

鎭南浦三大工事起工祝賀會は去る一日同港開港紀念日をトし開かれたるが建築所工事部長坂出鳴海代理として同所經理課長八木親豐の朗讀したる祝辭左の如し

鎭南浦開港以來今茲十二星霜を閲みし其間通商の風潮は日に月に新にして是に伴ふ各般の設備經營は着々其歩を進め今や築港と共に平南鐵道及廣梁灣製鹽の三大事業一時に施設せらるゝを見る鎭南浦將來の發展期して待つべきなり

惟ふに當港は西北韓に於ける唯一の良港にして大同江口を扼し內本線を控へ外大連芝罘と呼應し物資の集散地として貿易上樞要の好位置を占む而も港內風浪靜穩にして水深く大船巨舶の繫留を妨げず冬期氷流の阻礙ありと雖其間僅に二ケ月に過ぎず築港大成の曉に於ては尙此期間を短縮するや明なり政府此に見る處あり光武十年八ヶ年度の繼續事業として工事費百十餘萬圓を以て海關設備を計畫し其第一施設として稅關諸廳舍及倉庫の建設河岸の整理棧橋の架設は既に之を了し今や進むで現在市街と飛灘島との間に介在せる干潟地に閘船渠を築造し將來に於て陸上の設備を完備して海陸連絡の完成を期せんとす本工事は韓國に於ける閘門式築港の嚆矢にして閘內の水面は常に其最低限度を小滿潮面に止らしむるの計畫なるを以て閘內の船舶は接岸繫留して荷役に便なるを得べく又東方埋築地は飛灘に連り其沿岸の一部延長約百間は繫船岸壁となし瀛船を橫付にすることを得べし尙異日發展の狀勢に應じ大規模の企畫を立つるの基礎として多くの余裕を存せり本工事竣成の日は平南鐵道は沿岸に達し平壤鎭南浦の直接交通によりて市都及閘門の聯絡完成し大同江の水運と共に通商設備の完璧を期することを得べく時恰も廣梁灣の鹽田は無盡の生產物を提供して內外の急需に應ずるに至るべし即ち現在の三大事業は相關聯して益々韓國の西北貿易を振作隆興し數年ならずして國富增進の一大資源たるは信じて疑はざる所なりとす豈に慶賀すべきの至ならずや茲に起工祝賀會に莅み聊か施設の一斑を披瀝し祝辭に代ふ

隆熙三年十月一日
建築所工事部長　阪出鳴海

◎僕の樂み

「僕は何日も店頭に座つてお客樣に應待を申す所謂店員なるものである、お客さまの有るときは勿論其の方と種々お話しを申し上げたり、お話を伺つたりして買上を願ふて居るから自然面白く時の經つのも知らん位、信吉さんお午飯を、どれどみさんに呼ばれてオヤモーお午飯かと思ふことが段々ある、がこれと反對に雨でも蕭條と降る日などは從つてお客樣も少ない不愉快で堪らん、商店員はお客樣に接するのが一番愉快なのだ、と僕は思ふのですが諸君は如何です



第三席　伯山改　神田松鯉口演

今信西の命に依つて弓矢を携へ、御階の下に現はれたる式成、則員と云へる二人の侍、此の二人の矢表に立つては、如何に爲朝三面六臂ありとも免るべからず、アラ不憫の者よと、一同顏見合はして控へて居る、爲朝之れを見て「コハ面白し、當時名代の弓取、式成、則員の兩人が矢表に立たんこと拙者の本懷之れに過ぎず、若し拙者美事に其矢を取り得ば御身は如何なされ候や」信「言ふまでもない、拙者の首を進せる」爲「これは近頃面白い、夫れに相違ござるまいな」信「念を押すには及ばし、某、生れ落てより虛言を吐いたことがない」爲「愈々以て面白し、然らば御免」と言ふより早く廣庭へ飛出し、矢頃を計つて大手を擴げて突立つたる其有樣、松の古木の金輪際より生立つたるが如くにて、泰然自若として身動き一つなさゞるは、天晴勇々しき武者振にて、實に賴母しき若者よと並み居る面々アツ計りに感嘆した、弓を持つた兩人は判官爲義に義理もあり、非もなき若者を殺すも如何と思ふから、逡巡して矢番ひ兼ねて居る、これは人情で有理の事であります、信西之れを見て信「コレ何を躊躇致し居る、早く致さんか」と急立てるので二人も今は詮方なく、兼て二の矢あるべしと定められましたゆゑ、矢二筋を手挾み、兩人相並んで弓に矢番へキリキリと引絞つた、新院を始め奉り一同も「コハ危し、八郎の命は風前の燈火に均し」と、手に汗を握つて控へられたる時、滿月の如くに引絞つたる强弓、兩人同時に矢聲を放つて、一本の矢は咽喉の邊へ飛び來るを、爲朝右手に丁に取り、一本の矢は胸元近く飛び來るを左手にガッシと握つたり、其の速きこと陽炎の昇るが如く、電の閃めくに似たり、コハ射損じたるか口惜しや、此の度は射殺さゞるまでも爭でか矢を取らるべき、節の恥を雪がずんばあるべからずと、兩人等しく引絞つて、暫時覘ひを定め、透間を窺ひ膊と放てば、一筋は取るに間なければガッキと計りに口にて喰止めましたが、ヤ、其業の美事なるは恰も神の如く、人間業とは見へません、之れを見て居りました者は醉へるか如くにて、餘りの美事さに、一同聲さへ出です、滿座寂々として恰も人なきが如くであります、此時爲朝は取つたる矢を右左へ投捨て、大音聲に爲「イデ、信西殿首給はらん……」と呼はりながら御階の上へと跳上つた、爲義之れを見てハタと階下へ突落し、聲振り立て、爲「控へろ八郎、武士の家に生れたるものが、たまたま矢面を避けたりとて何の功名となるべきぞ、身の程を顧みず無禮千万の擧動をするな」と叱付けたので、流石の爲朝も小さくなつて階下に踞居まる、賴長公之れを御覽になり賴「ヤヨ爲義、カラカラと御笑ひになり、其樣に叱かるには及ばん、如何に八郎でも父は怖いと見ゆるな、然し八郎が働き何に譬へんやうもなき程天晴のものぢや、爲義には好い兒を持ちしぞ、信西も今日の事は心に留めぬが宜い、各々も是れにて退出候へ」と申された、新院も御簾の間より爲朝の働らきを御覽になり、御感斜めならず賴長に賞讃の御言葉を賜ひ、爲義も大に面目を施して父子相伴つて退出しましたが、家に歸りて後爲義朝臣は爲朝を近く招かれて爲「コレ八郎、汝は生れ付いての亂暴者、兄を兄と思はず、世間の人を眼下に見くだし、屢々此父が意見を致すに少しも用ゐる氣色なく、今日は又た場所をも辨まへず、長者に對して彼是と高慢の言を述べ、好んで式成、則員が矢表に立つ如きは、誠に狂人に均しき所業、古語にも智あるものは爭はず能あるものは驕らずと言へり、汝の今日の擧動は實に不遜不孝の至り、今後其の行ひを改めざるに於ては、此父の手許へは置かぬぞよ」と嚴然として戒められました



廣告

京城新報

京城日報の迂論

珍らしくも京城日報が余輩の駁論に對して挑戰し來る、余輩彼が健氣なる態度を嘉みす。

余輩は彼が銀行券發行高の僅に增加したると穀類輸出の多少增加したるが爲に地方の金融潤澤しつゝありと想像して、經濟界回復の曙光杯と樂觀するの迂濶を憫笑したり、然るに彼は是を以て却て余輩の經濟思想を淺薄なりとして逆襲し來る、其勇氣は素より余輩の稱贊する所なれども、憾むらくは其勇や盲目蛇に怖れざるの類なるを如何せむ、然れども珍らしく彼が勇を鼓して逆襲し來れる、健氣なる態度に免じ、之に應へて更に彼が迂濶なる蒙を啓かんか。

余輩は彼が見て以て經濟界回復の曙光となす樂觀的資料は唯一時の現象にして、決して經濟界の順潮に回復し來れるの徵に非ず、亦不景氣の挽回し來れるにもあらずとなす、而も余輩は之を斷言するに躊躇せざる也、記憶せよ余輩の所説は近き前途に於て必ずや表現し來るべし、此時に於て彼の目は醒めて眼前の蛇に怖るゝに至らんか、彼が最近銀行券發行高の僅に增加したると穀類輸出の多少增加したるを以て經濟界が順潮に回復し來るの徵杯と空想的に樂觀するは、全く韓國現在の實情に暗く、現在地方市場の取引が如何に行はれつゝあるかを知らざるが爲也、若し夫れ韓國現在の經濟界が如何に險惡なるかの實情に通じ、地方の金融が如何に逼迫して、一國經濟の根原たる多數農民の窮迫せる狀態を知悉せば、一時の現象により經濟界回復の曙光杯と迂濶なる事は云はざらむ、畢竟之れ座上の數字により推斷せるが爲也、燈の將さに消へんとするとき光を放つ一時の現象を見て順潮に明光を續るものと樂觀すると同一也、曷ぞ知らむ、更に油を注がざれば其光は繼續せざる也、之れ迂濶に非ずして何ぞや

彼は亦曰く地方農民が疲弊せる一事を以て經濟界活躍の事實を否定せんとならば米國其他歐洲各國貧富懸隔の甚だしき國に於ては其經濟界は極めて不振の狀態にありと云はざる可らず豈斯の如き迂論あらん哉云々と、何ぞ事理に暗きの甚しきや、彼は米國其他の富強國と韓國とを同一に見做さんとするか、韓國は貧富の懸隔甚しからず、余輩は一國經濟の根幹たる多數農民の窮迫を云ふ、此多數農民の疲弊が今日の如く甚だしきに於ては、經濟界は容易に順潮に向はざるべし、米國其他の邦國に於ても若し韓國の如く國民が疲弊の深淵に墜落し產業不振ならば經濟界は無論不振を來たすべし如何に迂なりと雖も斯る見易き道理を解せざるの筈なし。

本年の米作が果して平年以上にして、亦鐵道の布設港灣の修築道路の改修等所謂曾

統監の產業政策が漸次發展するに至らば無論經濟界も漸次回復發展し來るべきは彼の言へるが如し、然れども之等產業政策の實行されたる暁の事のみ、現在に於ける一時の現象を以て經濟界回復の曙光杯と樂觀するは餘りに韓國の事情に迂也、須く韓國現在の狀態に就て研究する所あれ、其時に於て始て余輩の言に首肯するに至らん。

東京電報

▲京元湖南兩線着手 一時湖南線の起工に着手すべしと稱へられしが政府は遂に兩線の起工をなすことに決定し京元線は明年より五年湖南線は六年の繼續事業として經費は三千乃至三千五百万圓の豫定なりと(八日發)

▲大阪米穀取引所 大阪市米穀取引所株主中には其の新株拂込を了したる後資本金を二百万圓に增加すべしとの議ありて頻に重役側と交渉を重ねつゝあり(同上)

▲來年度の總豫算 來年度歲入歲出總豫算案は目下大藏省主計局に於て査定を急ぎつゝあるが本日結了の上明九日の審議會に提出すべし(同上)

▲割當拂込の通知 韓國銀行創立事務所は各取扱銀行に對し割當及び拂込の通知昨日終了したり(同上)

▲米大統領の演説 米國大統領タフト氏は桑港に於ける歡迎會席上に於て日本の進歩顯著なるを述べ米國は通商上日本と提携するの必要を説述したり

▲陸相と道路整理 寺內陸軍大臣は日露戰役當時軍事の運搬に不便なりし事例を引き我國に於ける國道改良の必要なるを熱心に主張し居れるを以て道路法案として議會に提出するに至るべし

▲攝政王と張之洞 攝政王殿下は國家前途の際し柱石たる功臣を失へるは嗟歎の[illegible]張之洞氏の長逝を[illegible]せられ葬儀に對し[illegible]しとの御諚を下し特に滿陀羅尼[illegible]掛を賜はり衛兵十名を派して葬儀を[illegible]ましめらるべし

▲貯金管理所設置 來年度に於て政府は郵便貯金管理所を韓國に設置す(同上)

▲三角航補助決定 舞鶴、敦賀、元山、清津、城津の連絡航路開始に付き政府は十萬圓の補助を與ふるに決したり(同上)

▲英大使の拜謁 今般歸任したる英國大使マグドナルド氏は天皇皇后兩陛下に拜謁仰付けられたり(同上)

▲屠場事件の公判 屠場事件被告立川雲平の控訴公判は明九日大坂控訴院に開廷(八日發)

▲張中堂の子息 清國皇帝陛下は張中堂の長子張權に對し特に四品京堂を賜はりたり(同上)

▲波斯と列國 巴里來電に依れば英、米、佛國は波斯の宗主權及行政權問題に付滿足なる解決を得たりと云ふ又獨逸官報アルゲマイネ、ツアイツングは英國新聞の攻擊に對し治外法權を主張せり

▲間島副領事決定 間島副領事速水一孔、領事官補近藤愿吉に決定したり

▲張本松辰の廢業 取引所問題調停不成立に終り紛擾の爲め買方の張本松辰は終に廢業したり(同上)

▲間島行巡査出發 間島總領事館付巡查二十九名は十二日新橋發赴任の途に上るに付き永瀧總領事は昨日一同を集め懇篤なる訓諭を爲せり(同上)

▲國有鐵道不成績 國有鐵道特別會計實施後既に半歲を經過せるが收入は前年度に比し悉く豫定より減少せり即ち四月より九月迄の收入合計四千九十七萬四千百三十五圓にして差引不足額七十四万三千四百八十五圓なり(七日發)

▲兩派融和せむ 進歩黨非改革派は十一日實行委員會を開き對改革派問題を決定する筈なるが肥塚角田氏等の申出にして異ならば條件を提出して其眞意を表示せしめて後融和すべしとの意見に一致せるを以て結局條件付き融和に決定するならん(同上)

▲萬國農會委員 林全權大使三松農商務書記官今井大使館書記官は羅馬に開かるゝ万國農事協會第二回總會に委員として參列仰付られたり(同上)

▲高橋領事の死去 在清國漢口總領事高橋橘太郎氏は赤痢病に罹り死去せり

露都電報

▲商務大臣の新任 前獨逸駐劄露國大使フォン、ミット氏は露國商務大臣に任命されたり(八日午後着)

▲露國政府の滿足 現內閣反對の守舊派の運動は失敗に歸し且本年は非常の豐作なるを以て露政府は大に滿足し極東に於ても日本が清國に對し時に野心ある觀を示すなきに非るも日本の軍事的商業的活動に對し何等の疑懼を挾み居らざるを表明せり(同上)

雜報

●法權實施と警察 現任警察官は總て韓政府在官者にして日本人警察に當る場合は日韓警察協約に依り日本人警察官として之を司裁せしむる組織なるが來る十一月以後委任法權實施と共に統監府司法警察官制を發布し司法警察官として糴を統監府に置かしめ日韓兩者兼勤の組織に改むべしと

●小作人組合設立 今般各財務監督局管下に試驗の意味を以て三ヶ所の國有地小作人組合を設立する由なるが其要旨左の如し

一、組合設立の場所は小作人の集團し尚且地方金融組合所在地たること
二、組合は遲くとも十月中に此を成立せしめ本年秋收の際より預金せしむること
三、組合資金として金五百圓位を下付すべきも差當り秋收期に際し農民金融の尤も緩和なること且郡廳の都合上とにより來年度適當の時機に此が下付を爲すの豫定也
四、組合に於て必要の資金を農工銀行より借入るゝ限度及其利率は目下交渉中但し本年中に於ては資金借入の必要は事實上に於て此れ無かるべし

●日韓瓦斯の解決 京城民團と日韓瓦斯會社との間に交渉中なる道路使用料の件は既報の如く會社より再度の嘆願書に接し昨七日夜開會の臨時民會に付議したるが議員中には瓦斯會社の專横を憤り飽く迄當初の決議を主張し苟くも一旦公議機關に於て決議したる事項を讓歩訂正するは民團の面目を毀損するの甚しきものなりとて反對を唱へたるものありしも熊谷民長は懇ろに之を説明し創業當時の同社の爲めに盡力頗る努めたる爲め大に議員の同情を動かし結局該嘆願を容れ命令案第六條の民團及公設街燈等に供給する瓦斯料金三割減とあるを三割以內と引込料無償は一ヶ年以內とするに決す更に今明兩年度に於ける千八百圓納付の名義は民團の面目上命令形式を以て遂行するの至當なるを決議したり、依て民團長は本日岡崎專務の來所を促がし民會決議の結果を傳へたるが同專務も滿足を表し居りたれば本事件も圓滿に解決するを得べし而して明九日夜更に民會を召集して最後の決議を爲し然る上命令書の交付を爲す由なり

●伊藤公爵の歸途來韓 近々西比利亞旅行の爲め滿洲へ向ふ可き伊藤大勳位公爵の旅程は未だ詳報に接せざりしも先づ浦鹽に渡航哈爾賓を經て滿洲を視察し歸途韓國へ立寄る可きやも計られずと

●警察部長大更迭內議 現任各道警察部長中には其成蹟如何はしきものあるのみならず內務部長との折合に就ても頗る面白からざる風説を耳にせしが中央政府に於ては夙とに此事實を憂へ近々大更迭を斷行すべく目下內議中なりと(日通)

●警視增員説起る 韓政府にては別項の如く各道警察部長の大更迭斷行後現任警部中より成蹟優秀のものを詮衡して警視に昇任せしめ各道樞要の地に配置し之が爲めに官制を改正して警視の定員を增加すべしとの説あり(日本電通)

●韓國貸付金減額 日本政府より韓國政府への立替金は司法權委任の結果當然年額を減せらるゝを以て韓政府は治道費に流用したしとて繼續貸付を申込たるも大藏省の容るゝ所とならず遂に年額中より約百四十万圓を減じ四十三、四の兩年に二百六十萬圓を受收ることに內定

●木浦濟州島間の航路 木浦濟州島間に於ける命令航路船妙見丸及の往復寄港するあり又當地より別に韓國人所有龍湖丸の往復するありて該線路に於け布する時は荷客の減退は到底免かるべからずこれぞ同船不況の唯一原因にして木浦よ

●釜山汽船會社の擴張 釜山汽船會社にては目下宗信丸福山丸の二

●全國社の祭祀料贈與 全國社の祭祀に就ては春秋二季あり今回內部は香祝として若干の祭祀料を處在の各道に向け送付したるが全道を通じて七八社に過ぎずと云ふ

●道主事執務上の細則 地方行政刷新の爲め今春各道主事增員の結果三八の處六八となり處務細則の必要を感じ此規定に依り執務することゝなるべし

●民團女學校建議決議 既報の如く昨七日夜召集の民會にて女學校設立の件を可決したり經費は一萬三千五百圓にして校舍は西大門外元砲兵隊營舍二千餘坪の大建物なるが度支部にては非常の好意を表し當分無償貸與の交渉成り居れりと

●共進會出陳模型注文 明年三月名古屋及福岡にて開催さるべき共進會へ對し農商工部より出陳の韓國模型は一個二千圓宛を以て此頃來韓したる釜瀨新平氏に製作を請負はしめ同氏は實地調査の爲め近々各道を視察する由

●キ元帥と防疫の勵行 英國元帥キッチナ將軍の旅程は滿洲より當地を經由する豫定なるが虎疫流行の爲め旅程變更等の事ありては頗る遺憾なるを以て內部にては極力防疫を勵行し元帥着韓までには淸淨無垢地として迎ふべく一昨日各警察署長を召集し此旨達したりと云ふ

●警備船乘組員と配置 海上及沿岸警備の爲め警部三名、巡查四十一名を增員し警部三名は木浦、麗水、莒浦の三警備所に配置し四十一名の巡查は派出所警備船及漁業船取締船に乘込ましむる筈にて倘警備船には舳部に地質白木綿、縱二尺五寸、橫三尺五寸にて上部に黑の橫線を引き其下に赤地にて十字の兩側に點を打ちたる記標の船旗を揭揚すべしと

●平北警察署長の更迭 平安北道楚山警察署長加來大惠氏は平安南道德川署長に補せられ新任警部池田安孝氏は楚山署長に補せられたり

●各地方社寺實地調査 各地方社寺に關しては各道書記官の意見に基き內部は調査をなし來りたるが今回特に寺社を調査する必要あり林田事務官を十日慶尙北道へ派遣し實地調査を行ふ由

●慶應義塾同窓會 時事新報編輯長荒井由三郎氏並朝鮮水產組合長岡十郎氏歡迎を兼ね來る十日午後六時より京城ホテルに於て同窓會開催す 會費は金三圓出席者は九日中に京城ホテル內幹事宛申込るべしと

●仁川經濟研究會例會 仁川經濟研究會は豫定の如く本日午後七時より民役所樓上に於て第二回例會を開き會員の提供に拘る諸問題を研究の上宮木稅關長は一場の講話を爲す筈

●釜山船渠計畫の進捗 釜山船渠は岡十郎氏が主導者となりて計畫中なることは報じ置きたる處なるが沿岸航路も次第に擴張し船舶檢查法の發布も近きにあらんとする今日船渠設置の必要に迫ると共に近頃內地有力者に依つて之れが設計大に進捗しつゝありと云ふ

●軌道會社と鐵道廳 釜山軌道會社が曩に統監府鐵道廳に對してことは已に當局者に於て交渉通り殆んど內定し居る由なれば釜山より東萊に至るもの

●東洋捕鯨の豐漁 本年五月元東洋漁業、長崎捕鯨、大日本捕鯨及帝國水產を合併し新設せられたる東洋捕鯨株式會社は其后東海漁業及び太平洋漁業を買收し全國總捕鯨船數二十八隻の內其三分の二以上即ち二十隻の事業船を有することゝなりたる同社は已に本年夏期の漁業に於て二百五十三頭の捕獲あり一冬期漁業も去十月一日より全部の事業船に運送船六隻を附屬せしめ韓海、對州、土佐及紀州の各方面に事業を開始せしめ初日以來本月五日に至る五日間にて二十六頭の捕獲あり之を事業場別にせば如左

韓國長箭洞	七頭
韓國蔚山	十五頭
對馬比田勝	一頭
紀伊大島	二頭
紀伊二木島	一頭

昨年に於ける捕獲成蹟は各地とも槪して不況なりしが反之本年は頗る豐漁なるべき豫想の由而して昨今捕獲にかゝる鯨一頭の平均賣上價額は約二千圓なるよし因みに同社は曩に合併に漏れたる同業六會社中より昨今頻りに合併若くは買收の交渉を受けつゝあるよしにて本邦捕鯨業の統一を見るも決して遠き未來にあらざるべしと云ふ

●官立學校大清潔施行 七日防疫委員と打合せ二組に分ち京城官立學校に大清潔を施行し八日より各學校共授業を開始せりと

●瓦斯管理設着手 日韓瓦斯會社にては民團との交渉案件も漸く解決せるを以て明九日より永樂町一二丁目の道路より瓦斯管埋設に着手する由

●定例參與官會議 昨八日各參與官統監府に參集定例會議を開けり

●內閣の定例會議 今八日李總理以下閔宮相、趙農相、朴內相、高法相、親衛府長官等登閣或る重要問題に就き會議せり

●警備船其後消息 警備船五隻は已に麗水に着したるは既報の如くなるが曩に吳に寄港中なりし五隻中三隻は七日麗水に着し後二隻は目下航海中

●鈴木局長の案內 鈴木司稅局長は官民の重なる者數十名を開城參政課に案內し紅蔘製造の狀況を觀覽せしむべしと

●倉富次官の歸期 司法權實施準備に關する要務を帶び東上中の倉富法部次官は今明日中東京發歸任の途に就く豫定なり

●信夫仁川理事官 は地方費賦課に關する打合せの爲め昨日水原へ出張せり

●高橋檢事出張 仁川理事廳詰高橋檢事代理は昨日一番列車にて東京に出張せり

●學部員の登山 學部員約二十名北漢山登山をなす由にて九日午後より一泊の豫定を以て十日午後歸宅すと

●世界周遊團入京 世界周遊團ハーゲンの一行十名は今夕入京各所觀光の上來る十二日仁川より大連丸に投じて滿洲に向ふ筈

●荒井時事編輯長 時事新報編輯長新井由三郎氏は八日午後六時南大門に着す

●小川鶴二氏東上 農商工部事務官小川鶴二氏は農工業事務調査の爲め近々東上す

●女學校開校期 京城民團女學校は本年中に工事を進捗せしめ明年四月より開校の豫定なりと云ふ

●敍任 統監府技師 安藤格 統監府特許局陳列所長を命す

本日午後三時より仁川商業會議所役員會を開く害なり

近事片々

▲目下 東上中の統監府員の説として曾禰統監歸朝説を傳へ來る果して之れ事實にや
▲韓皴 所屬問題京元湖南線布設問題の爲の歸朝なりと云ふ或は左る事情もあらんか
▲一時 は病氣靜養の爲に歸朝すべし杯の説もありしが政務上の歸朝ならば甚だ可し
▲京元 湖南兩線共に同時布設着手すべく決定せりの説あり果して事實ならば可喜也
▲兩線 併設は統監の熱心に希望する所併設決定眞ならば統監の主張が貫徹したる也
▲滿鐵 會社にては總裁と理事との間兒角不折合爲に內部は動搖しつゝありとは可慨
▲併し 後藤男の跡釜として中村是公は其器餘りに小此際適材を總裁に專るを可とす
▲國澤 副總裁東上は理事の更迭を意味すと云ふ併し理事よりも總裁の更迭可ならむ
▲總裁 重役其器に非ざれば內部の動搖は不絶起らむ敢て之れ滿鐵會社のみならんや
▲京城 にても東拓會社の如き或は之に類せずや此儘に過れば滿鐵の二の舞をなさむ
▲重役 耳福にして万骨は寒に慄れ也とはそんじよ其處等の社員等は常に唧ち居る也
▲憐なる万骨よ官僚主義の會社に身を容るゝ以上は是非もなし萬骨は何時も枯る也
▲警察 部更迭の説あり人民に直接する警察部長には之に適する人物を選む必要あり
▲其位 置高からざるも地方行政の改善には警察部長は最も重要の人其責や頗る重し
▲例の ハルバート君は韓國近世史を發刊せんと目下史料蒐集中なりとは果して實か
▲彼は 單に財產整理の爲に來韓せりとの觸れ込なりしが心氣一轉更に永住の覺悟か
▲近世 史編纂を事實とすれば如何なる工合に編纂さるべきか其內容こそ聞かまほし
▲彼は 閔妃事件に筆を起し日露戰爭役に於て日韓の關係を論すべしと噫面白からむ
▲露國 皇后には愛子が無政府黨員の犧牲になりはせずやと憂慮し神經病を起せりと
▲實に 無政府黨なる者の陰險手段は全く恐ろし何とか彼等を撲滅するの工夫なきか

[illegible]到着したる報告書に依れば同方面は概して閑散の時季なるも濟州島には釜山汽船二隻[illegible]る汽船の往復度數は之れを從來と比較するに約三倍以上に達せるを以て別に數に於て[illegible]街客の異同を見ざるべきも之れを各船に配[illegible]米等にして重なるものにて濟州島よりの入荷は甚だ稀なりと

釜山汽船會社にては目下宗信丸順山丸の二隻を以て[illegible]木浦間を廻航しつゝあるが今般更に一隻を增加し且つ從來より回航數も一ヶ月二回を多くする由

[illegible]釜山軌道會社が統監府鐵道局に對して交渉したる東萊釜山驛間の[illegible]連絡切符發賣のこと且つ釜山驛と釜山驛相互間には可成列車の運轉回數を增加する[illegible]定し居る由なれは釜山より東萊に至るものは云ふべからざる便利を得べしと云ふ

●仁川商議役員會開會 [illegible]京元、三南兩鐵道布設速成を促進する爲め[illegible]開く筈なり

●夜の龍山新市街

過る土曜（二日）の夜、月に浮れての漫ろ歩行き、翌日は日曜ゆへ夜更し爲ても出勤遲刻の氣遣ひなし、イザ龍山新市街の夜景を觀べく南大門驛より汽車にて龍山停車場に降りたのが十一時三十分、停車場前は靜寂たること原野の如く人ッ子獨りも居らず寂しさ限りなし、女中が眠むさうな眼をして表戸を締め居る太陽旅館の前を通り拔け本道路に出づれば、サスが十五間道路の廣さ見渡り限り一直線に、新築の郵便局先づ街頭を飾りて立派、異ん向ふは鐵道線路を隔てゝ舊市街より桃山の燈火或は高く或は低く氣も澄む秋の大空に懸れる星の如、街角より三軒目の内田旅館にては店前にて細君が女中を相手に白い粉末の樣な物を瓶の中に入れて居たが何んだつたろう、此程開業した料理店朝德の前を通ると女將が眼敏く僕を見付てマアお寄んなさいと浴せかけられ失敗たと思つたが豫ての顏馴染ゆへ素通りも出來ず一寸茶の間に腰を下ろしソシテ什うです開業以來の景氣は……と聞けば女將は例の愛嬌たつぷりの口元を開きて、此節は惡い病氣の爲め誰方も外出禁止だそうで誠に淋しい事です妾しども未だ開業したと云ふ譯ではなしそれに新顏ではあり此方にはお馴染のお方も少ないは何んと言ふてもまだね……然し追々病氣の勢ひも衰へて來ましたらば得意の御手輕と御安直とを標榜しまして盛んに開業式を擧げ大いに新市街の景氣を付ける心算です其時はお招き致しますから是非光來しやつて御贔負をね……と不相變のお世辭と氣焔其家を出て**神隆亭**を覗いたら僕を何と思つてか店に居た**酌婦が奧へ駈込**んだハテ面妖な、それから**笑月**の前へ行つたら樒の袂に酌婦が二人立て居て僕をジロ／＼見るばかりお這入りやすとも何んとも言ふて呉れぬソコデ僕の方から今晩はと言葉を掛けても默て居る無愛想の事だが客を誘引せぬところは**感心**、玉突場の**長壽軒**は平素も賑やか、蕎麥屋の**紅葉庵**は今夜什うしてか行燈が出て居らぬ最う寢たらしい**今春**は何處の誂へか仕出しの料理最中、**四君亭**との**花家**はヒッソリしたもの、**龜屋**の二階の四疊半雲山と云ふ額の掛けてある座敷に**藝者**があがつて**騷**で**居**た其の一とつ置て**隣**りの**座敷**にはイヤにピ**カ／＼**する**天窓**の人がランプの**光**りと**競爭**して居た**大吉樓**の二階には客があつてオイコラ安田の眼はまで明いて居るぞナンテ威張つて居る聲が聞へた、**一新**の表二階には白地の大縞な單物を着た色の黒い**齒**の**出**た二十七八歳位ひの**客**が**女中**を**捕**へて**上**になり**下**になり嫌ですよお止なさいよドシン、バタン、ガッチャンの大亂痴奇、アー下の帳場では聞き兼て手をパチ／＼、ア隨分歩いて勞れた、京城へ歸るには汽車なし馬車なし電車なしと謂ふ始末、着衣は夜露に打たれて濕つぽい、眠氣は頻りに催して來る、月は隈なく輝いて滿街を照らして居るが……まゝよ僕は此邊で雲隱れ／＼（よあけ烏投）

●當世流行酌婦氣質

△前借金を踏倒て駈落 △情夫は鼻の下の長次

原籍大阪市西區新道通り三丁目番地不詳戸主捨吉長女橋本よしゑ（二十）と云ふは生來の淫婦にして未だ十四五の肩揚げの取れぬ時分から男の味を覺え之れまで關係せし男の原籍調査でも行つたなら北は白熊住む宗谷岬から西は不知火の松浦潟の津々浦々に跨り流行の飛行機なら知らぬこと急行列車位では一年や二年では到底其万分の一にも行き當らず海千山千の頗る付きの阿婆摺なるが内地では一向面白い芽が出ぬので背ては遠く洋三界までも發展して一攫千金せんものと企て旅券の下附が叶はず寧そのこと自由渡韓の出來る直ぐ目と鼻の滿韓地方に飛躍して茲十年計畫を以て娼賣の成功せし曉は千兩箱は貨物列車で輸送し身は金剛石の指環の十四五も箝めて誤親類筋をあつと言はしめんものと昨年艷陽三月菜種の花に白蝶黃蝶が戯むれて居る時殆んど夜逃げ同樣に渡韓して京城に乘込み某桂庵の周旋にて旭町一丁目飲食店松葉亭事向井イチ方に一先づ尻を据ゑてこれから娼賣專一に取掛つて見た所收入も思はしからずよしゑが理想したる軍人なら大尉官吏なら二本筋以上ならでは假令座敷は掛けても暗中摸索の曲藝は弓矢八幡許さじと響つたも無情なや今日此頃の不景氣には弗旦の阿房鳥も獵らず靑息吐息だけでは濟されぬのは直接米櫃問題に影響するので虹の樣な長嘆を漏して理想と現實とは偃うまで違ふのか知らさばかりでは追つかず本人大に褌緊一番の積りでねしまゝよと一念發起しては宗旨の變更を廣告して例の四疊半裡大勉强安値一時間三十錢の切賣專賣局を開始して平民主義を標榜したのも束の間や虎疫猖獗の衛生の騒ぎで柳下神燈閉滅して遊治郎の御入來も暫く足絶ゑ玆に至りては百計盡きて落城氣味の悲運に陷り捨鉢となり情夫は勤めの憂さはらしとてあれかこれかと多くもあらぬ馴染客を物色して見たが一向合格條件を具備したる者なく襦袢の襟に首を埋め欝々として愁んでいたなら結句内地の方が增しだつたわと柄になき望郷の歎を發したる折柄よしゑの安値主義を嗅ぎ付け遂ひ一ヶ月前に北米倉町理髮店國末方職人上野長次（二十）が一寸一杯叩りた果がれ定まりの樂しき一幕が宜しくあつて木が這入り舞臺が廻れば別座敷で色直しの溢茶の饗應あり爾來長次の意氣に鵬魂惚れ込み我から進んで入れ揚げ居たるが昨今朋輩の目にも餘る樣に意茶付居りしが昨八日午前六時頃よしゑは近所の御大師樣に參詣するとて服裝も輕く本綿矢多羅縞の袷に瓦斯縞の黃色の袷羽織を着流し赤茶の襦子に唐縮緬の腹合帶を締めて京城ばかりに陽は照るまいと古風にも隨德寺と洒落たるが松葉亭にては同人に前借金百六十余圓もあれば大に驚き直ちに出入の破落漢四五人を八方に手別けして搜索せしも行衛判明せず一方國末床に長次の所在を聞けば同人は去る五日都合ありて解雇せしとのことに二度吃驚し遂に昨日よしゑの人相書に寫眞一葉を添ねて南部警察署に取押方を願出でたるが近隣の噂に依れば長次はなか／＼の女喰ひとのとなれば何れ終りの修羅場の一幕は遠からずそんじよそこらで演ぜらるべしとの評判じや／＼

當世平民の歌 秋はよい季 藤一戯稿

○
其處に行くのは仁作さんじやない歟
そう謂ふお主はお秋じやない歟
今夜遲くも忍ぶがいゝ乎!?
更けちや可厭だよ宵からお出で!

○
秋はよい季天氣は晴れて
小町お秋は白齒を染めて
裏の畑で姐樣冠り
桑を摘むのが似合ます。

○
秋はよい季天氣は晴れて
辛棒男の仁作の阿兄が
嫁の里から駄馬牽ゐて歸ねりや
稻田かなたに雀亂つ。

○
秋はよい季天氣は晴れて
仁作收獲準備に忙はれ
晝四眠の役にと入れば
お秋可愛や腹帶締めた。

●仁川避病院現在患者 ▲コレラ患者は僅に二名

仁川民團立避病院の現在患者數を聞くに虎列剌二名腸窒扶斯二名赤痢五名計九名にして仁川病院に於ける現在入院患者數は内科只だ一名を餘すのみなりと云ふ

●仁川病院の種痘

仁川民團立病院は有志者の希望に添はんが爲め兩三日前より種痘の求めに應じ居れりと云ふ

●拾得物を隱匿す

仁川平洞居住の金聖化（三七）と云ふは先月廿九日公州守備隊附通譯某より其父に當る平洞居住の朴基順に宛てたる信書の誤配を受けたるを天の與へと開封せしに爲替劵（四圓）の在中し居りしにぞ惡意を生じ花町郵便所より額面の金子を詐取して何喰はぬ顏にて仕濟まし居たるも天道は正しく其筋に發覺されて昨日金聖化は仁川署に引致さる

●南山本願寺の勤行

同別院に於ては八日、九日、十日の三日間午後七時半より讀經説教あり更に本日は土曜日に付例の如く午後七時半より定例説教あり明十日の日曜は此れ又例の如く午前九時より少年會の講話並に正信偈の教授ある由なり

●科料一束

原籍東京府平民當時京城櫻井町番戸不詳安藤雜貨店雇人福井雄三（四二）は去る九月三十日午後六時櫻井町街路にて放便したる廉に依り科料金三十錢に△京城南大門通二丁目米本雜貨商店員米本義藏（二六）は去る六日午後十時頃南大門通りを無燈の自轉車にて通行せるに依り科料金三十錢に何れも一昨日南部署にて早決處分せらる

●色餓鬼と消費高

一昨七日新町遊廓の登樓客は總計七十四人此の消費額三百十一圓七十六錢一人宛消費額四圓廿一錢二厘餘

吉凶鏡 本町五丁目 三一館判斷

十月九日舊八月廿五日四綠友引壬寅されん三りんぼう△一白●激刺たる行動を要す△二黑●不圖したる事より人より怨恨を買ふあり共同組合夫妻間不和生じ易し△三碧●靜穩平運なり交際上及火の元に懸念すべし△四綠●他人より誹謗を受くるあり旅行轉住凶脚より下の病傷艮るべし△五黃●盜難遺失及家族從者より損害配慮あり△六白●大切なる日なり小事を追ふて大事を逸するなかれ痴疑して利を失ふ事あり△七赤●爭端發起らん壯者は色情を戒しむ△八白●農林業には吉其外不快の日なり△九紫●利潤ある日なり賣買取引貸借等吉友人のため世話事あり

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同舘の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

▲櫻井町海山樓の酌婦れきみと云ふを大枚七圓の身の代金を拂つて落籍せしめた小林君の後日譚は過日の本欄に紹介した所である△近日に至りて更らに其の後譚を耳にしたから報道する敢て天下の大問題でもないが我慢して讀んで頂きたい是れ實に這の風聞子をして有終の美を濟さしむる所以の道である△扨も其の後然る程にさしもの小林君もれきみの理の當然たる玉代請求に遊易して我れから妥協を申し込んで離れ話は一先づ落着した△然るに玆に岡屋喜太郎なる惡戯者ありて其の間の出來事一切を新聞紙の記事を證據として小林君の正妻お何の方に注進した△ご妻君イヤ怒るまいことか成程然う聞けば心當りがあるいや現在昨夜も歸らなかつた今夜だつて今迄歸らん位だからモウ歸らんに極まつた己れやれ其の惡性女め人の亭主を寢取つた上に出て行けと云へば玉代を出せと怒鳴つて男に謝罪せたりとは憎さも憎し夜の明け次第乘り込んで思ふ樣其のシャツ面を引つ搔き引ん剝き食い嚙つて遣らねば腹が癒へぬ斯うと知つたら晝の間に爪を取るんぢやなかつたけど嫉妬と後悔に氣も狂はん計り△トは知る理由なき此方の二人は水入らずの小酒盛に夜を更し甘つたれたり甘へられたりして枕を並べて眠りに就いたは午前二時頃△何にやら騷がしいので小林君眼を覺して見る正妻お何が阿修羅王の荒れたるが如く形相凄しく左の手にれきみの髮を引つ摑み腰卷一つのれきみの肩に食ひ付ひての大立回り△小林君直ぐ遊び起きて仲裁でもするかと思ひの外床の中からマア待て／＼と計り△夫れも其の筈小林君褌もせぬ丸裸、ヤッとの事で起き上つてれきみを本日限り暇を出すと誓つて其の場は納まつた△がれきみは今でも何町かに小林君に圍はれて居ると云ふから又此の後譚があるだらうとのこと（風聞子）▲先日の本欄に屁の利用と云ふのが出て居ましたが私の所の下女のお梅と申すのは平均二十は確かに行ります材料豐富です（きん次）▲此の頃の不景氣と云つたら有りません私共は此れでは遠からず餓死です（飲食店主）▲お氣の毒の樣にも思はれます（小僧）▲此の五六日以來本町通りを廿六七の鼻の小高い色白の奧さん風の人が南大門通りの方へ向つて夕六時過ぎ必ず通行せらるゝが何所の方で何所へ何しに行くのか知つてる方は有りませんか（伺度生）▲染物屋及洗濯屋には不都合な奴があるシャツや裏地や足袋なぞは度々間違へる三品渡したのを二品だつたと云ふ樣な奴もある尤も取つたからとて大した金になるもので無いから誤魔化す意味でもなからうが兎に角不注意の責は免れまい反省しないと名前を素ッ葉拔くぞ（被害者）